

か い ぎ し ょ

9 Sep.
2025/No.770



トップの部屋

60年の信頼と実績 液体輸送のプロフェッショナル

内外液輸株式会社 代表取締役会長 伊藤 保義 氏／代表取締役 伊藤 貴康 氏

第30期 3号議員決まる

第2回 全会員ビジネス交流会開催
11月20日(木)

詳細・申込は本誌14ページ



2025
9

CONTENTS

★印があるページは読むことができます。
それ以外のページは本誌でお楽しみ
ください。

event

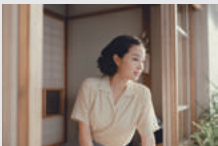
34 音楽情報

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL
ミュージア川崎シンフォニーホール

ホールアドバイザー松居直美企
画 言葉は音楽、音楽は言葉
Vol.7
J.S. バッハ オルガン小曲集
プロジェクトI

10月25日(土)

35 シネマ情報 CINECITTA'



©2025「遠い山なみの光」製作
委員会

「遠い山なみの光」

9月5日(金)公開

2 第30期3号議員決まる

★ 4 トップの部屋

60年の信頼と実績 液体輸送のプロフェッショナル

内外液輸株式会社 代表取締役会長 伊藤 保義 氏／代表取締役 伊藤 貴康 氏

3 9月は負担金の納入月です

★ 8 会員ひろば

SakuSaku体操教室[幸区]／Any Style(株)[中原区]
有馬 楓[宮前区]／(株)エリアブレイン[麻生区]

12 第32回 会員ゴルフ大会

14 第2回 全会員ビジネス交流会

28 釘宮 貴美子の税務Q & A

令和7年度税制改正「年収の壁」見直し
公認会計士・税理士 釘宮 貴美子

★ 30 儲かる! 商売に役立つ ワンポイント

補助金を活用して販路拡大! 売上UP!!
中小企業診断士・当所専門相談員 仲田 俊一

32 コストゼロでできる! 今すぐ試せる求人術

応募者の辞退を減らす「現状・不安・願望」の3つの質問
(一社)求人広告ライター協会 代表理事 関根 コウ

当所休業のお知らせ

10月7日(火)は、当所創
立記念日のため、休業とさ
せていただきます。

ご理解とご協力をお願
いいたします。

なお、12階「パソコン教
室」は通常通り営業いたし
ます。

16 中小企業・小規模事業者向け支援施策のご案内

46 小規模事業者経営改善資金制度

13 生命共済制度をご活用ください

18 CCILレポート

24 インフォメーション

25 新入会員のご紹介

26 今からでも遅くない! 育児・介護休業法のポイント

34 イベント

ナンプレ／カルッツかわさき

★ 36 情報NOW

中小企業のためのDX事例／トレンド通信

38 2025年度下期 各種検定試験日程表

40 ガンバレ! フロンターレ!

41 GO! GO! 川崎ブレイブサンダース

42 川異研通信

44 川崎みなと祭り

15 新会員をご紹介ください

27 専門相談員制度をご活用ください!

31 ビジネス総合保険制度

33 オンライン経営相談のご案内

43 女性の 会員募集中!

48 小規模企業共済

50 WEBセミナー・研修講座

51 会員限定プレスリリースサポートのご案内

52 大人のそろばん教室

53 パソコン教室 受講生募集!

56 会議所行事等予定表・編集後記

□ 会員優待サービス券

■ 審美巡礼(解説 近藤壮／学習院大学教授)

★ ■ かわさき発 ぶらり旅

60年の信頼と実績 液体輸送のプロフェッショナル



内外液輸株式会社

代表取締役会長 伊藤 保義 氏(右)

代表取締役 伊藤 貴康 氏(左)

アルコール輸送の国策会社を原点とし、タンクローリーによる液体輸送を手がける物流企業。取り扱うのは、工業製品の製造に用いられる液体原料や酒造用アルコールなど、いずれも危険物に指定される専門性の高い品目。それらを安全かつ確実に届けることで、日用品から嗜好品に至るまで、暮らしに欠かせない製品の安定供給を支える。

創業60年を迎えた今、これまで培ってきた信頼と実績を礎に、環境への配慮や人手不足の深刻化など、変化する社会の要請に的確に応えながら、次なる成長を目指す。

液体輸送の専門業者として

—まず、会社の沿革についてお聞かせください。

伊藤保義会長(以下会長) 当社のルーツは1937年までさかのぼります。日中戦争の影響で海外からの石油の輸入が困難になることを見越し、日本政府は「アルコール専売法」

を施行しました。これにより液体燃料の自給体制を整えるとともに、国策会社としてアルコール輸送(株)を設立しました。戦後になり、同社は内外への更なる発展を期して、1947年に内外輸送(株)へと改称。1963年にその会社の横浜支店自動車課が独立して内外液輸(株)を設立し、現在に至ります。

—現在の経営体制について教えてください。

伊藤貴康社長（以下社長） 実質的には、私の祖父・伊藤満が初代社長にあたります。現会長である父・伊藤保義が2代目を務め、そして私が3代目となります。長い年月をかけて実績を積み重ねる中で、荷主である大手の化学メーカーや酒造メーカー各社から、厚い信頼をいただいています。

専門知識が求められる 危険物輸送

—運んでいる商品について詳しく教えてください。

社長 代表的なものは、壁紙・絨毯・車のダッシュボードに使われる液体原料（化学品）です。それ以外にも酒造用のエタノールや、加工済みの日本酒・焼酎・ウイスキーなどを運びます。ウイスキーのように長期熟成された製品は非常に高価で、その価格にドライバーが驚くことも（笑）。これらの液体輸送品の多くは、消防法上の危険物に該当します。そのため、定められた量以上を運ぶ場合には、特別なルールや設備、取り扱いの知識が必要です。

—アルコールは危険物なのですね。

会長 はい。アルコールは、糖質原料を発酵させて作る発酵アルコールと、エチレンなどを原料とする合成アルコールに分かれます。発酵アルコールは飲用酒や食品用に使われ、合成アルコールは化粧品や洗剤、医薬品に使われます。流通上これらを「酒造用アルコール」と「工業用アルコール」に分けています。

アルコールは身近なものですが燃えやすいため、消防法では石油や動植物油と同じ第4類の引火性液体として扱われます。たとえば、コロナ禍で常備されるようになった消毒用アルコールは濃度60%以下ですが、これが60%以上になると第4類危険物に該当します。

—液体を運ぶ手段について教えてください。

社長 液体を運ぶ方法は、大きく分けて2つあります。ひとつは、液体をドラム缶やコンテナなどの容器に詰め、通常

のトラックやトレーラーで運ぶ方法。もうひとつは、タンクローリーを使って直接運ぶ方法です。

タンクローリーとは、荷台部分が大きなタンクになっている専用トラックで、液体や気体、粉体などを輸送するために使われます。タンクにホースをつなぎ、直接荷下ろしを行うのが特徴です。当社は、このタンクローリーによる輸送を専門とする事業者です。タンクローリーの運転には大型免許が必要で、トレーラーの場合はけん引免許も求められます。また、一定量以上のアルコールを運ぶには、危険物取扱者（乙種第4類）の資格が必要です。つまり、アルコールのタンクローリー輸送は、運転技術に加えて法令知識も求められる、専門性の高い業務となります。



液体を運ぶタンクローリー

変化の激しい 経営環境への対応

—60年を超える長い歴史の中で経営危機はありましたか。

会長 当社にとって大きな試練となったのが、当時の石原慎太郎東京都知事によるディーゼル車規制です。1999年8月から規制が強化され、2003年10月には「環境確保条例」に基づき、排ガス基準を満たさないディーゼル車の都内走行が禁止されました。この規制に対応するため、我々は通常の車両更新とは別に、排ガス基準を満たす後付け装置の取り付けや、使用燃料の変更などを行わなければなりません。さらに、基準に適合した車両への買い替えも必要となり、維持費が大きく増加しました。この動

きは東京都にとどまらず、神奈川・千葉・埼玉といった近隣の県も追随したため、運送業界全体にとっても厳しい時期となりました。加えて、2001年には「アルコールの専売制」が廃止され、業界全体で自由化が進んだ結果、価格競争が激化。輸送ルートの見直しや統合が進み、多くの企業がこれまで安定していた取引の縮小や契約打ち切りを経験しました。

当社も例外ではなく、事業の一部を縮小せざるを得ませんでした。しかし、幸いなことに、大手の酒造メーカーや化学メーカーとの安定した取引関係があったため、銀行からの融資を受けつつ資金繰りを維持し、この苦境を乗り越えることができました。

―当時、これらの政策については、批判もありましたが。

社長 業界の外から見ると、排ガス浄化技術の普及を促進し、軽油の低硫黄化も前倒しで実現でき、環境政策にとどまらず、運送業界の構造改革と技術革新を促す契機となったと評価されています。私は排ガス規制の負の影響がまだ残る2008年に入社しましたが、直後に起きたリーマン・ショックによる景気の落ち込みの方が記憶に残っています。あれは恐ろしい事態でした。

―厳しい社会情勢の中、入社を決意されたのですか。

社長 当社の経営状況のことは知らなかったです（笑）。前職でIT業界のエンジニアとして働く中でシステム設計に興味を持ち、出向先への転籍を考えるようになったものの、組織的な圧力でうまく進まず…、そんな時に祖父が創業し、父が継いでいる会社のことがフッと脳裏に浮かびました。

周囲から会社を継げという話は一切ありませんでしたが、父の代で会社が終わってしまってもよいのか、自問自答を繰り返し、未知の業界に飛び込む決意をしました。

100 年を見据えて、次の一歩へ

―異なる畑への挑戦、戸惑いはありましたか。

社長 まったく別の世界、別の星に来てしまったような感覚です。私は理系人間で論理的に物事を進めるのが当たり前だと思っていましたが、社内には感情や好き嫌いを優先して行動する人もいて、最初は話が噛み合わなかったで

す。何度も衝突しながらも本音で話す、ごまかさないという姿勢で、少しずつ信頼関係を築いていきました。

―業務内容だけでなくカルチャーショックを経験したのですね。

社長 誤解を恐れずに言えば、ドライバーは一匹狼と言えます。会社という組織に属しているものの、日常的に1人で運転し、作業を行う時間が長い。その分、帰属意識は低くなってしまいます。そういう人たちをどうまとめていくか、経営者はその試行錯誤の繰り返しです。

―昨今はどこも人手不足で悩んでいます。

社長 物流業界の中でも、当社は比較的働きやすい業務形態であったため、これまで大きな人手不足には直面していませんでした。大型免許や危険物取扱資格が必要となるものの、ドライバーが重い荷物を積み下ろす必要はなく、配送ルートもほぼ固定されています。

また、コロナ禍においては「人との接触が少ない」という理由から、異業種から当社のドライバー職に転職してくる方も少なからず見られました。

現在では、時間外労働に上限が設けられたことで、これまで収入の柱となっていたドライバー層、特に30～40代の子育て世代が業界を離れ始めています。昨年秋頃からはその影響が顕著になり、2024年問題の深刻さを強く実感するようになりました。



—今後の展望をお話してください。

社長 2024年問題への対応として、物流業界全体においては、業務の効率化、荷主の理解促進、そしてDXの推進が求められています。当社は、アルコールという専門性の高い液体をタンクローリーで輸送しており、積み替えや混載といった効率化手法を採用できません。こうした制約を抱えつつも、現行の業務プロセスや体制を見直し、より組織的かつ効率的に業務を遂行できる仕組みづくりを進めていきたいと考えています。また、人口減少などによる物流業界全体の将来的な縮小も視野に入れ、30年先、50年先を見据え

た持続可能なビジネスモデルの構築も模索しています。道半ばではありますが、今後も時代の変化に柔軟に対応し、長期的な視点から当社事業のあり方を継続的に見直してまいります。



—会長は（一社）神奈川トラック協会の常任理事を務められているんですね。

会長 当協会では、日ごろの運送事業のほか、神奈川県や日本赤十字社神奈川支部と提携・協力し、災害発生時の組織的な物資搬送を行うなどの地域貢献を継続的にを行っています。私はタンクトラック・高圧ガス部会の部会長として、安全な業務遂行に関する各種施策を進める一方、現在は広報委員長としても、会報誌『神奈川トラック時報』の編集・発行に携わっています。



—会長、社長、それぞれの趣味を教えてください。

会長 私は車とお神輿です。車は父が1959年に購入した日野ルノー、フォルクスワーゲンK70などを動かせる状態で保有し、クラシックカーのイベントに参加しています。

また、若い頃から地元の大森三輪神社の神輿会に属しており、今も時々、仲間と一緒に各地の神社へ担ぎに出かかっています。

社長 今のところ、決まった日に休みが取れず、趣味を楽しむ余裕はありません。子どもがまだ小学生なので、一緒に遊ぶ時間を最優先にしたいです。

内外液輸株式会社

川崎区塩浜4-1-1（川崎営業所）

電話 044-270-3340

■ profile

伊藤 保義 氏（いとう やすよし）

1948年 東京都文京区 生まれ
1971年 日本大学経済学部 卒業
1987年 内外液輸(株) 入社
1990年 同社取締役 就任
2003年 同社代表取締役 就任
2023年 同社代表取締役会長 就任

伊藤 貴康 氏（いとう たかやす）

1975年 東京都大田区 生まれ
1997年 玉川大学 卒業
2008年 内外液輸(株) 入社
2011年 同社取締役 就任
2023年 同社代表取締役 就任



代表 櫻井 宏昌

一緒に体操を教える仲間を募集しています

SakuSaku体操教室では、こどもたちと向き合いながら、共に教室を育てていける仲間を探しています。スポーツ経験があり、こどもが好きな方はぜひご連絡ください。



SakuSaku体操教室 [サービス業部会]

2歳～中学生のための、心と体を育てる体操教室

幸 区

「苦手」が「楽しい」に変わる体験を大切に

運動が苦手な子にこそ通ってほしい体操教室です。「体を動かすって楽しい!」という感動を通して、技術の習得だけでなく、挑戦する力や自分で考えて課題を乗り越える力を育みます。

こどもたちの声に耳を傾け、自ら伸びる力を育てる

大切にしているのは、こどもたちとの相互コミュニケーションと、自主性を育む関わりです。「くやしい」「楽しい」「できた!」といった気持ちの動きをしっかりと受け止めながら、それを成長の原動力へと変換します。

代表・櫻井の想い

高校で体操に出会い、日本体育大学でレベルの高い仲間に刺激を受けながら、体操と真摯に向き合ってきました。卒業後、幼児体育指導を主とした大手総合スポーツクラブで指導経験を重ねる中、自分の思い描く指導や企画によって、こどもたちや保護者の笑顔を生み出したいと思うように。「もっと一人ひとりに寄り添いたい」「こどもたちの自分で考える力を育てたい」——そんな想いから結果だけをゴールにしない、こどもたちの成長に寄り添う場を目指して、2023年に「SakuSaku体操教室」を立ち上げました。

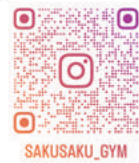
Webにて教室の様子を発信中

体操教室での日々の活動をHPおよび Instagram で紹介しています。ご興味のある方はぜひご覧ください。(一部コースはキャンセル待ちとなっています。)



照会先

SakuSaku体操教室
代表 櫻井 宏昌
〒212-0058 幸区鹿島田1-19-10 Kビル2F
TEL 090-5807-8553
E-mail sakusaku.gym.2023@gmail.com
URL https://sakusaku-gym.com



このコーナーは会員の皆様にご利用いただくページです。



Any Style (株) [サービス業部会]

あなたの魅力、プロカメラマンが伝えます

中原区

TVCMや映画の広報写真をはじめ、AERAやFRaUといったファッション誌、ゴルフダイジェストなどの業界紙で、著名人の撮影を手がけてきたプロカメラマン・佐粧です。これまでに世界27カ国を飛び回り、5,000人を超える“成功者”たちと向き合ってきました。

現在は、出張写真館とホームページ制作を中心に、「その人らしさをどう伝えるか」にこだわったサービスを展開しています。

中小企業の経営者さま向けには、ブランディング支援を行っています。とくに事業承継でお悩みの代表者には、「人が集まる見せ方」をご提案。撮影前には無料カウンセリングを実施し、内に秘める想いや魅力を引き出して、写真で表現します。

業種を問わず、さまざまな方との協業も歓迎しています。たとえば、今後の展開として、葬儀会社と連携し、ご家族の歴史を写真で綴る「ファミリーヒストリー制作」などにも取り組んでいきたいと考えています。アイデア次第で、さまざまなコラボレーションが可能です。どうぞお気軽にご相談ください。

【電子書籍を発売しました】

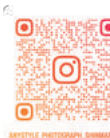
2000年代前半にヨーロッパで撮影したポートレート集を
1冊100円でリリースしました！
Kindle Unlimited会員の方は**無料**でご覧いただけます！
ぜひチェックしてください。

照会先

Any Style 株式会社
代表取締役 佐粧 俊之
〒211-0005 中原区新丸子通り2-682 ジュネス若狭2F
TEL 044-455-5783
E-mail info@anystyle2024.com
URL https://anystyle2024.com



ポートフォリオ

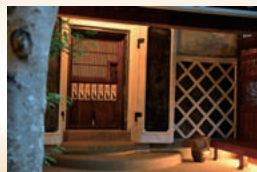


Instagram

掲載ご希望の方は企画広報部 TEL 044-211-4112 まで、ご連絡ください。



店主：泉 英次



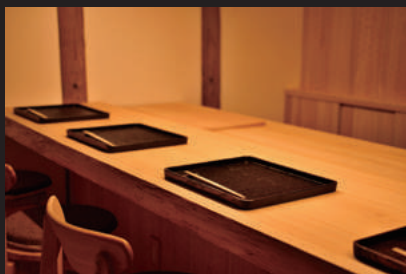
静けさに包まれた
京料理の扉



旬を引き立てる一皿



器の表情も料理の一部



檜の香に包まれる、6席の特等席



喧騒の街から離れ、心を整える場所へ

有馬 槻(つき) [食品部会]

ここでしか味わえない、静寂と旬の京料理

宮前区

鷺沼駅から少し歩いた住宅街の一角。蔵を改装して静謐な空間に仕立てたのは、檜の一枚板のカウンターと6席の特等席。『有馬 槻』では、季節の恵みを映した“おまかせコース”をご用意しております。

自家畑や地元の旬の食材を用い、日本の四季に寄り添った11品。温かいものと冷たいものを織り交ぜ、飽きのこない工夫とやさしさを一皿一皿に込めています。

当店の“おまかせ”は、目でも香りでも楽しめる季節の料理。「体がすっきりした」「心まで整った」といったお声を頂戴するのは、この道30年の店主が、素材と真摯に向き合い続けた証かもしれません。

記念日やご接待、大切な人と過ごしたい日に。

川崎にひっそりと佇む、小さな非日常へ。

ぜひお越しください。

完全
予約制

【お品書き】 おまかせコース：前菜・造里・焼き物など
季節の味覚を味わう全11品

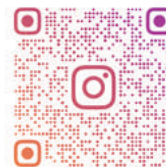
【ご料金】 お一人様：24,200円

※その日の素材や構成により、品数は多少前後する場合がございます。



照会先

有馬 槻
店主 泉 英次
〒216-0003 宮前区有馬8-24-9
TEL 044-863-8288
入店時間 11:30~12:30、17:00~18:30
定休日 不定休(完全予約制・4名様より貸切可)



ARIMA_TSUKI

このコーナーは会員の皆様にご利用いただくページです。

地域メディア運営・発行

- WEBサイト
「MYTOWN WEB」運営
- タブロイド版フリーペーパー発行
「MYTOWN SHINYURI」
「MYTOWN NOBORITO・YUEN」
「MYTOWN INAGI」
- 麻生区の便利帳
「MYTOWN GUIDE」発行
ほか



(株)エリアブレイン [情報メディア部会]

プロモーション支援

様々な角度から企業・団体・店舗等の販売促進や集客をサポート



新百合ヶ丘総合病院主催
「救急の日イベント」

チラシなどの印刷物から看板制作まで
幅広いツール制作に対応

地域活性化イベント企画・運営

地域の役に立ち、まちの活性化やにぎわいの創出につながるイベントの企画・運営



麻生区商店街連合会主催
「新ゆりた涼み」(企画・運営・広報)

東京都稲城市にて定期的に開催
弊社主催「イナギノヒラ」

人と人をつなぎ、地域の未来を描く

麻生区

弊社は、川崎市麻生区・新百合ヶ丘エリアに拠点を置く企画・制作会社です。印刷物などの販促ツールの制作、販促イベントや地域活性化に向けたイベントの企画・運営など、お気軽にご相談ください。

地域メディア運営・発行

- WEBサイト「MYTOWN WEB」運営
川崎市麻生区・多摩区、東京都稲城市周辺の地域のニュースをはじめ、グルメ情報、コンサート・演劇・セミナー・マルシェ・レジャースポットなどのおでかけ情報、生活に役立つコラムなどをお届けするWEBサイトです。
- タブロイド版フリーペーパー
「MYTOWN SHINYURI」「MYTOWN NOBORITO・YUEN」「MYTOWN INAGI」発行
1980年の創刊以来、地域に根ざした情報を発信し続けています。暮らしに役立つ情報やイベント、地域の歴史や医療コラムなど、生活に密着した内容を発信。地域住民に親しまれ、地域をつなぐローカルメディアを目指します。
- 麻生区の便利帳「MYTOWN GUIDE」発行
ドクター紹介記事や地域の幼稚園ガイド、公共施設、麻生区の公園、駅近辺の駐車・駐輪場など、日々の暮らしに役立つ情報が満載です。

プロモーション支援

チラシ・パンフレット・ポスターなどのツールのデザイン・制作からイベントの企画・運営、自社メディア「MYTOWN」を活用した広報まで、貴社・貴店の販売促進と売上向上をワンストップでサポートします。

<実施例>

終活セミナー、現地見学バスツアー、
救急の日イベント、幼稚園フェア など

地域活性化イベント企画・運営

イベントの企画立案からツール制作、広報、当日の運営までニーズに合わせて行っています。

<実施例>

マルシェ、商店会夏まつり、ハロウィンイベント など

照会先

株式会社エリアブレイン
代表取締役 岩倉 宏司
〒215-0004 麻生区万福寺1-12-2-2F
TEL 044-954-2555



▲Web & SNS

掲載ご希望の方は企画広報部 TEL 044-211-4112 まで、ご連絡ください。



補助金を活用して販路拡大! 売上UP!!

中小企業診断士・当所専門相談 仲田 俊一

補助金という言葉は知っているものの「なんとなく難しそう」と感じて、そのままになっている方も多いようです。そこで今回は、補助金の基本から注意点までをわかりやすく解説します。

●補助金で販路開拓に成功している事例も

私がアドバイスしている小規模事業者の方々も、補助金を活用してさまざまな販路開拓に取り組んでいます。

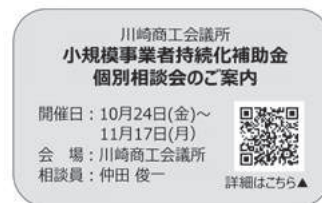
たとえば、補助金を活用して安価に展示会に出展したり、ポスティングを実施したり、カタログを制作して見込み顧客にDM（ダイレクトメール）を送付するなどです。

補助金を使うことで、こうした施策にかかる金銭的な負担が軽くなります。だからこそ、通常は手が出しづらい新しいチャレンジにも取り組みやすくなります。

●補助金の申請はどう進むの?

では、実際に補助金を使うにはどうしたら良いのでしょうか。補助金によって詳細は異なりますが、基本的な流れは下記のようになります。

- ① 探 す: まずは、自社に合った補助金を探す
- ② 申 請: 要綱（ルール）に合わせて、申請書を作成して提出
- ③ 実 施: 採択（＝申請が通る）された後、実際に事業を実施（お金を使う）
- ④ 報告書: 事業実施後、決められた様式に沿って報告書を作成
- ⑤ 振 込: 報告書の内容が確認され、問題がなければ補助金が振り込まれる



●補助金の注意点にも気をつけましょう

ここまで読むと「補助金ってとてもいい制度じゃないか」と思われるかもしれませんが、活用にあたっては、いくつか注意点もあります。

例えば、補助金はルールで決められた費用にしか使えません。パソコンや車両など、対象外となるものもあります。また、満額が支給されるわけではなく、一部自己負担が必要です。さらに、お金を使える期間が決まっているため、スケジュール通りに事業を進める必要があります。

審査があるため、申請すれば必ずもらえるとは限らない点にも注意しましょう。また、申請から報告まで手続きが多く、ある程度の時間と労力がかかること、そして後払い方式のため、一時的に資金を立て替える必要があることも理解しておくべきポイントです。

●使い方を工夫すれば、販路拡大の強力な味方に!

こうした注意点に気をつけながら活用すれば、補助金は小規模事業者にとって非常に心強い制度になります。

特に、販路開拓に使える補助金として代表的なものに「小規模事業者持続化補助金」があります。この補助金は、チラシ作成やポスティング、展示会出展などにも活用できます。

「もう少し詳しく知りたい」「自社に使えるか相談してみたい」という方は、川崎商工会議所でも相談対応を行っていますので、どうぞお気軽にお問い合わせください。

あなたの企業をサポートします!

経営相談のご案内 [経営相談のご案内]

当所経営指導員や専門相談員（弁護士・税理士・中小企業診断士他）が、経営に関する悩み・ご相談にお応えします。お近くの本部・支所までお気軽にご相談ください!

このコーナーは、「儲かる! 商売に役立つ ワンポイント」と題し、商売に役立つヒント、便利な情報・制度などをご紹介します。日々のご商売に、ぜひお役立てください。

中小企業のための DX事例

ウイングアーク1st株式会社 データのじかん主筆 大川 真史

トップの決断と現場の工夫が支えた データドリブン経営

今回は「どんぶり経営」から「データドリブン経営」へと切り替わった製造業の事例です。新潟県にあるセキ技研株式会社は、1991年創業の製造業企業で、生産工程の自動化を図るFA（ファクトリーオートメーション）装置の設計・製造や電子部品の受託生産を手掛けています。従業員約100人のこの企業が注目される背景には、アナログで感覚頼りだったスタイルから、数値とデータに基づく経営へわずか3年で変化した点があります。

DX推進の起点は、二代目経営者の問題意識でした。属人的な判断や非効率な業務体制が温存され、収益や生産性に関するデータは一部の経営層しか把握していない状況。現場では「とにかく忙しくすればよい」といった空気がまん延していたといいます。

そうした状況を打破すべく、2021年にDX推進室を立ち上げ、戦略的なデジタル化が始まりました。これは「人口減少社会におけるモノづくりを再興する」という中期経営計画に基づくもので、DXを単なる業務改善の手段にとどめず、企業文化として根付かせることを目指しています。業績報告会の開催や部門別データの見える化、業績に基づく振り返り文化の醸成が進められ、全社的な業務の再設計が行われました。これにより、年間1700時間

の業務時間削減などの成果が表れています。

現場には、アルバイトで入社し、独学でシステム改善に長年取り組むメンバーがいました。手作業による現品票発行や出荷履歴管理を地道に電子化した取り組みが、後の全社DXの土台となりました。また、新たに加わった技術担当者は、身近な「お弁当発注システム」の開発から着手。社員が昼食用の弁当を頼む際に使用し、注文時に効果音を鳴らすなどの工夫により現場にも自然に受け入れられ、DXへの心理的ハードルを下げました。

こうした取り組みのポイントは、トップダウンの明確な方針と、現場からの改善提案というボトムアップの動きが両輪となって進められたことにあります。さらに現在では、得られた知見は社外にも展開されつつあり、地域企業への支援にもつながり始めています。

この事例は、地方の中小製造業でも、経営者の覚悟と現場の創意工夫があれば、本質的かつ持続可能なDXが実現できることを力強く示しています。今ある課題に対して、小さくとも確かな一歩を踏み出すこと。それこそが、大きな変革への最短ルートなのかもしれません。（この事例は筆者取材時のものであり、現在では異なる場合があります）

広告募集中

"待たせ上手"なお店が教えてくれるもの

先日訪れた岐阜市のとんかつ屋さんで面白い体験をしました。あらかじめネットで調べたところとても高評価なお店なので、お昼の開店時間に合わせて訪ねました。最近はやりの高級なとんかつ屋さんにあるように、何種類かの銘柄豚から選べるメニューになっています。注文を伝えると店員さんが「当店はじっくり低温で揚げますので、20～30分ほどお時間をいただきます」とのことでした。私はマニアに近いとんかつ好きなので、良いお店ではそれくらい待つのは珍しくないと思いました。

するとカウンター越しに見えるキッチンでスタッフがやおら土鍋を取り出して、私が注文した分のはんを炊き始めました。初めは気が付かなかったのですが、客席から見える位置にガスコンロが7～8台ずらりと並んでいて、そこにごはんを炊く土鍋が四つほどのっています。先に注文した客の分でしょう。その隣に「私のごはん」がセットされました。

それから15分ほど、湯気を出して徐々に炊き上がっていく土鍋をわくわくしながら眺めていました。火を止めて蒸らしている間に、手元に茶わんとしゃもじ、香の物が出され、いよいよ土鍋ごはんの到着です。ふたを開けてもらって炊き立ての香りを楽しんでいるうちに、メインのとんかつもやってきました。土鍋ごはんは炊き立て特有の甘みやうまみがしっかり感じられてとてもおいしく、とんかつも断面が薄ピンクでジューシーに仕上がった絶妙な揚げ具合でした。出されたもの自体のおいしさ以上に、この体験全体を通して忘れられないお店になりました。

次に岐阜に行くときも必ず訪れようと思いました。

この「とんかつ体験」でいくつかの気付きがありました。料理のプロセスが見えるため、提供されるものの価値や品質が想像され期待が高まることや、自分がいつまで待てばよいかわいた見当がついて待つ不安が軽減されること、普段は得られないサービスが自分のためだけに準備されているという特別感、待つ時間が提供されるものの品質向上につながっているという納得感などです。

待たせ上手なお店といえば、ファミリーレストランチェーンのサイゼリヤの間違い探しゲームを思い浮かべる人もいるでしょう。キッズメニューに描かれた間違い探しのイラストは、大人でも簡単に正解できないほど難易度が高く、料理を待っていることを忘れて時間を過ごしてしまいます。またお客同士のコミュニケーションのきっかけにもなっています。

こうした待たせ上手なお店に共通しているのは、「客を待たせている」という自覚があること、それを「客はどう感じているか」に対する想像力があること、さらにそれを「通常のオペレーションの中で解決する」ための工夫があることでしょう。

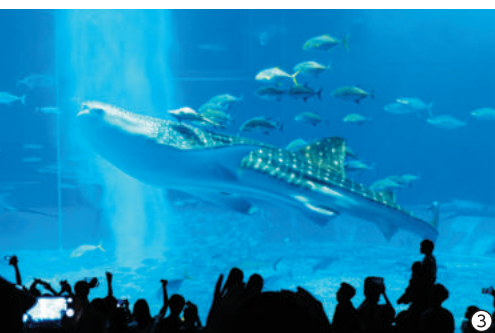
品質と価格でモノの良しあしを評価する「コスパ」重視の時代から、その消費行動自体に時間を費やす体験としての価値があるかどうかを問われる「タイパ」重視の時代になっています。スマホ任せにしない客の待たせ方に今後も注目していきたいと思います。

広告募集中



高速ジェット船で巡る 美ら海のジャングルへ

ジャングリア沖縄、美ら海水族館、座間味島 他
那覇市、名護市、本部町、島尻郡
沖縄県



ジェット船が那覇の港を出ると、海の色が格段に濃い青に変化しました。やがて見えてきた、絶海の島々。ビーチの砂は眩しいほどに白く、森の木々は深い緑。海には淡い水色が加わり、無限のグラデーションを描いています。上空から確認した美しさは、「世界が恋する海」そのものでした。

今回のぶらり旅は沖縄県を訪れました。那覇を中心に、オープンしたばかりのジャングリア沖縄、美ら海水族館、慶良間諸島へ。高速ジェット船を活用して、各地を巡ってみました。

琉球王国の時代から、沖縄では船が重要な交通の手段となってきました。現在では時速80kmの高速ジェット船(ジェット)が各地を繋ぎ、さらに利便性が増しています。那覇から、ジャングリア、水族館等がある沖縄北部方面には、わずか70分。優雅な船旅が楽しめる上に速い。沖縄ならではの素敵な交通手段です。

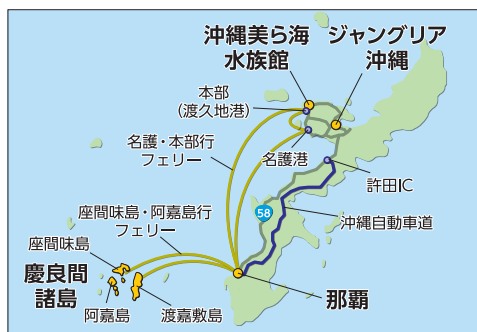
ジャングリア沖縄は、名護(名)市にオープンしたばかりの巨大テーマパークです。世界自然遺産「やんばる」の森の大自然が存分に生かされた構成は、世界的に見ても希少なものと

60haの広大な敷地内には、多くのアトラクション、スパやレストランが用意されています。

名護市の隣の本部(本)町には、日本屈指の巨大水族館、沖縄美ら海水族館があります。ジンベエザメが泳ぐ水槽は世界最大級。その他の展示も見応え抜群です。是非ジャングリアとペアで訪問してみてください。

那覇からジェット船で50分。「世界が恋する海」と称される慶良間諸島は、地区全体が国定公園に指定されています。おすすめは小船で渡る無人島群。世界でも屈指の、美しいサンゴの海が楽しめます。各島では電動キックボードのレンタルが始まりました。慶良間の海風を感じながらの走行は爽快そのもの。緑豊かな陸上の観光も手軽に楽しめます。

川崎に負けない飲食店数の那覇。魅力的なお店が目白押しです。そしてお酒の締めには…なんとステーキ。24時間営業のお店も多く、皆さんこそってお肉を食されます。赤身メインで値段も割安。深夜でも美味しくいただきました。



●アクセス 那覇空港→那覇泊港→各フェリー

●キャプション ①:慶良間の海のドローン撮影。取材時にはマンタと遭遇。(渡船料:嘉比(比)島・安慶名敷(敷)島1500円、安室島2500円) ②:ジャングリア沖縄の人気アトラクション、ダイナソー・サファリ。恐竜好き必見。③:説明不要!のジンベエザメ。巨大水槽で優雅に回遊。④-1:24時間営業のステーキチェーンの一皿。安い美味しい! ④-2:沖縄そばも最高。オリオンビールも是非! ⑤:電動キックボードに初挑戦。こちらもおすすめです。(ジャングリア沖縄:公式HP、沖縄美ら海水族館:☎0980-48-3748、座間味村観光協会:☎098-987-2277)